

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日	校長名	所在地																															
専門学校武蔵野ファッションカレッジ		昭和51年10月1日	須澤 麻紀	〒 1710022 (住所) 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6117																															
設置者名		設立認可年月日	代表者名	所在地																															
学校法人後藤学園		昭和25年9月22日	後藤 人基	〒 171-0022 (住所) 東京都豊島区南池袋3-12-5 (電話) 03-3982-6152																															
分野	認定課程名	認定学科名	専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度																														
服飾・家政	服飾専門課程	ファッションスタイリング科	平成21(2009)年度	-	平成26(2014)年度																														
学科の目的	ファッションの専門知識と技術、そして、変遷するファッション業界において、順応できる幅広い視野と美意識を備え、生活をより快適かつ美的なものにするための社会貢献が出来る人材育成																																		
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	ファッションビジネス能力検定2級3級 Styling Mapトータルスタイリスト検定ジュニア、プレイヤー フォーマルスペシャリスト検定準二級 リテールマーケティング(販売士)検定2級																																		
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数	講義	演習	実習	実験	実技																												
2年	昼間	※単位時間、単位いづれかに記入	1,845 単位時間 74 単位	510 単位時間 単位	0 単位時間 0 単位	1,335 単位時間 単位	0 単位時間 0 単位																												
	生徒総定員	生徒実員(A)	留学生数(生徒実員の内数)(B)	留学生割合(B/A)																															
100人	43人	1人	2%																																
就職等の状況	■卒業生数(C) : 22 人 ■就職希望者数(D) : 22 人 ■就職者数(E) : 22 人 ■地元就職者数(F) : 2 人 ■就職率(E/D) : 100 % ■就職者に占める地元就職者の割合(F/E) : 100 % ■卒業者に占める就職者の割合(E/C) : 100 % ■進学者数 : 0 人 ■その他 (令和 6 年度卒業生に関する令和7年5月1日時点の情報) ■主な就職先、業界等 (令和6年度卒業生) アパレル業界																																		
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: 有 ※有の場合、例えば以下について任意記載 評価団体: 私立専門学校等評価研究機構 受審年月: 平成28(2016)年10月 評価結果を掲載したホームページURL: https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/																																		
当該学科のホームページURL	https://www.musashino-fashion.ac.jp/course/fashion_styling/																																		
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定) <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>2,175 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>30 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>1,845 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>30 単位時間</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位時間</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>60 単位時間</td></tr> </table> (B: 単位数による算定) <table border="1"> <tr><td>総授業時数</td><td>91 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数</td><td>1 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した演習の授業時数</td><td>0 単位</td></tr> <tr><td>うち必修授業時数</td><td>74 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数</td><td>2 単位</td></tr> <tr><td>うち企業等と連携した必修の演習の授業時数</td><td>0 単位</td></tr> <tr><td>(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)</td><td>2 単位</td></tr> </table>							総授業時数	2,175 単位時間	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	30 単位時間	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間	うち必修授業時数	1,845 単位時間	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	30 単位時間	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	60 単位時間	総授業時数	91 単位	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	1 単位	うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位	うち必修授業時数	74 単位	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	2 単位	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	2 単位
総授業時数	2,175 単位時間																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	30 単位時間																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位時間																																		
うち必修授業時数	1,845 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	30 単位時間																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位時間																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	60 単位時間																																		
総授業時数	91 単位																																		
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数	1 単位																																		
うち企業等と連携した演習の授業時数	0 単位																																		
うち必修授業時数	74 単位																																		
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数	2 単位																																		
うち企業等と連携した必修の演習の授業時数	0 単位																																		
(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)	2 単位																																		
教員の属性(専任教員について記入)	<table border="1"> <tr> <td>① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)</td> <td>6人</td> </tr> <tr> <td>② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6人</td> </tr> </table> <table border="1"> <tr> <td>上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数</td> <td>4人</td> </tr> </table>							① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	6人	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	0人	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人	計	6人	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	4人														
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)	6人																																		
② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)	0人																																		
③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)	0人																																		
④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)	0人																																		
⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)	0人																																		
計	6人																																		
上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数	4人																																		

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

ファッションスタイリング科はファッションコーディネート力とコミュニケーション力を基軸として考え、ファッション業界において販売職やスタイリストでの就職を目指し、その後のキャリアアップまで想定した学習をする学科である。アパレルメーカーで行われる商品の企画から販売、それに関わるヴィジュアルマーチャンダイジング等、企業で使われている手法や、スタイリストが現場で必要なコーディネートと手法や礼節を在学中から身につけることを目指す。学校と業界の垣根を超え、第一線で活躍中の人材を講師として起用することで、業界の動向を迅速に把握し、学生へ情報提供できる運営を行う。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け
※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

実践的かつ専門的な職業教育を実施するために、企業等との連携を通じて必要な情報の把握、分析を行い、教育課程の編成(法定及び法定外科目の授業内容・授業手法の改善・新規科目の開設等以下同じ。)に活かすことを目的に設置する。教育課程編成委員会からの意見は職員会議において検討され、授業内容の改善や新規授業案として今後の授業運営に活かしていく。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年5月1日現在

名前	所属	任期	種別
財城 里佳	一般社団法人 日本ファッションスタイリスト協会デスクマネージャー	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	①
石木 賢二	株式会社Vowel デザイナー/ディレクター	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
須澤 麻紀	本校 校長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
箕輪 雅春	本校 教務部 スチューデントサポート課 主事	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
三枝 壘	本校 教務部 教務課 副主事	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
奈良 将之	本校 教務部 教務課	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
田中 日菜子	本校 教務部 教務課	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
齋藤 誠志	本校 教務部 スチューデントサポート課	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(9月、3月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年7月8日 17:00～18:00

第2回 令和7年3月18日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

コロナ禍を超え、様々な業種で変化を求められた。学生の気質、人材育成に希求されるものを鑑み、カリキュラムと時代性の整合性を再確認する時期と心得ている。職種の幅広さに関する理解が乏しいことから、業界で活躍する様々な業種の方を招聘し、現在に至る過程とその魅力などを語ってもらう特別講義を設けた。

人材不足から企業側もより熱のこもった募集活動を展開している。インターンシップのオファーもあることから、積極的に参加を促している。

文科省の授業時間は充足しているが、授業数が少ないという意見を受け、上記の特別講義を含め、授業を追加した。カリキュラムの全般的な見直しとシラバスの改訂に向け、開講形態、単位数、内容、学科ごとの差別化とともに反映させていく。

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1) 実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

「現職の業界人」を起用し、臨場感のある授業を展開する。現場に隣接した学校として、外向的な組織を目指す。知識・技術と社会人基礎力を備えた人材育成という本校の教育方針に賛同し、理解を得た上で、連携して授業運営を行う。

(2) 実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

1.『スタイリストトレーニング1』

スタイリスト及びアシスタントの実務内容に則った知識と技術など、即戦力というレベルを目指す。スタイリストとしての姿勢と素養も身につける。学習成果に対する評価は企業側が行う。ワークシートによる知識習熟度のチェック、受講姿勢と理解度の観点から科目成績を出し単位の取得とする。

連携企業「株式会社エーツー」

2.『ビジネスマナー』

ヴィジョン、想い、コンセプト、世界観を的確に伝えるための「イメージ」をトータルプロデュースする手法を学ぶ。学習成果に対する評価は企業側が行う。筆記テストと演習における習得度から科目成績を出し単位の取得とする。

連携企業「一般社団法人イメージプロデュース協会」

3.『販売士検定2級対策講座』

販売業務全般の理解と販売士検定2級と同レベルの専門知識の習得を目指す。授業テーマに沿って、講義・演習を行う。学習成果に対する評価は企業側が行う。小テスト及び過去問題、受講姿勢から科目成績を出し単位の取得とする。

連携企業「株式会社エストール」

4.『ヘアメイク2』

応用のヘアメイクテクニックの習得を目指す。テーマやテイストなど独自の世界観を具現化することが到達点である。学習成果に対する評価は企業側が行う。課題提出と取り組み姿勢、トータルコーディネートとしての完成度から科目成績を出し単位の取得とする。

連携企業「株式会社enny」

5.『コレクションセミナー1』

業界の現状と動向、ファッショントレンドについての最新情報。

イメージからオリジナルな作品へ、ファッションの魅力を掘り下げ、想像力と表現する楽しさを体験する。

学習成果に対する評価は、企業側と教務部で協議の上で行う。

連携企業「株式会社TEN10」

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
スタイリストトレーニング1	スタイリストアシスタントとして必要な基礎知識・技術・素養を身につける。	株式会社エーツー
ビジネスマナー	企業人としての姿勢、言葉づかい、礼節を知識の習得から所作として身につける。	一般社団法人イメージプロデュース協会
販売士検定2級対策講座	1.小売業の類型 2.マーチャンダイジング 3.ストアオペレーション 4.マーケティングなど、テーマに沿って、講義・演習を行う。	株式会社エストール
ヘアメイク2	シチュエーション・テイスト・イメージに合わせ、トレンド感のあるヘアメイク表現を習得する。	株式会社enny
コレクションセミナー1	イメージを他者に伝えるための、ヴィジュアル表現テクニックとクリエイティブなまなざしを養う。	株式会社TEN10

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係		
(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針 ※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記		
最新の業界情報・アパレル実務、美術・芸術史など、知識と想像力に精通した教員能力維持のため、『ファッション業界の実務研修』『指導方法向上の研修』『就職指導研修』を計画的に行い、職業教育の質の向上に努めている。また、学校として求められる「合理的配慮」への対応や、「私立学校法改正にともなう対応」などの研修会に参加することで、適正な学校運営に繋がるように注力している。教員個々の資質の向上は、学生に直接還元できるものともなり得ることから、学校として積極的なバックアップと推奨をしていく。		
(2) 研修等の実績		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	#REF!	連携企業等: #REF!
期間:	#REF!	対象: #REF!
内容	#REF!	
研修名:	#REF!	連携企業等: #REF!
期間:	#REF!	対象: #REF!
内容	#REF!	
研修名:	『フォーマルスペシャリスト検定2級(シルバーライセンス)』	連携企業等: 一般社団法人日本フォーマル協会
期間:	2024年6月19日水曜日9時30分～17時	対象: 教務部 教務課
内容	フォーマルウェアの高度な専門知識と、接客サービス、クライアントへの適格なアドバイス	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	『合理的配慮～義務化へ～』 臨床心理士 野町 一成氏	連携企業等: 後藤学園法人事務局
期間:	2024年3月21日15時20分～17時	対象: 教務部
内容	4月1日から義務化される合理的配慮を念頭におき、学園の障がい学生支援に関する方針に基づいて実施	
研修名:	『メンタルヘルス教員研修(基礎研修)』臨床心理士 神田亜弥子氏	連携企業等: 後藤学園法人事務局
期間:	2024年7月10日(水)16時45分～18時30分	対象: 教務部
内容	基本的知識(ストレス・発達障害・精神障害等)とカウンセリングマインドを土台にした生徒指導法(傾聴・組織的対応)の学習	
研修名:	『留学生に対する生活指導等講習会』 オンライン開催	連携企業等: 公益社団法人東京都専修学校各種学校協会
期間:	2024年7月17日(水)13時30分～16時	対象: 教務部 教務課
内容	留学生を取り巻く犯罪の現状、留学生の在留管理、留学生向け滞在適正化講習について	
(3) 研修等の計画		
①専攻分野における実務に関する研修等		
研修名:	#REF!	連携企業等: #REF!
期間:	#REF!	対象: #REF!
内容	#REF!	
研修名:	『高田賢三 夢をかける』	連携企業等: 公益財団法人東京オペラシティ文化財団
期間:	2024年7月6日(土)～	対象: 教務部
内容	幼少期、学生時代、パリにわたっての活躍、そして晩年の活動まで彼の人生を紹介する展覧会の視察	
②指導力の修得・向上のための研修等		
研修名:	『Word2019応用』	連携企業等: 公益社団法人東京都私学財団
期間:	2024年8月13日(火)9時30分～16時30分	対象: 教務部
内容	グラフィックの活用、書式設定、便利な機能、図形・図表・画像を使う文書、差し込み印刷、長文の作成等	

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

専門学校に希求される教育活動、その他の学校運営について、恒常的な改善の機会と捉え、教育の質の向上を目的とする。自己点検・自己評価を実施することにより、学校の公共性を担保する。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	育成する人材像・将来的(中期的)構想・学校の特徴
(2) 学校運営	運営方針・事業計画・運営素時期及び意見決定システム・人事評価制度
(3) 教育活動	教育目標・業界の人材ニーズとの整合性・カリキュラムの体系化
(4) 学修成果	就職率・資格取得率・退学率・卒業生の社会的な活躍及び評価
(5) 学生支援	就職指導体制・学生相談体制・経済的支援体制・保護者との連携
(6) 教育環境	施設・設備の整備、学外学習、インターンシップ、海外研修等の教育体制
(7) 学生の受入れ募集	学生募集活動の適正化・入学選考基準・額納金の妥当性
(8) 財務	財政基盤の安定性・予算、収支計画の有効性・会計監査の適正化
(9) 法令等の遵守	法令、設置基準等の遵守、自己点検・自己評価の実施及び公開
(10) 社会貢献・地域貢献	社会貢献の実態・学生のボランティア活動の支援
(11) 国際交流	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

コロナ禍後の業界の変化を注視している本学の運営方針は、各委員の共感を得ている。入り口である学生募集では、高校生が齟齬のない学校選択をするために真摯に相談に応じ、学習成果である就職活動への支援の一環として、職業理解の講座を新設したことも、高く評価をいただいた施策である。学校関係者評価委員のアドバイスと賛同を得て、カリキュラムの改訂に着手する。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名前	所属	任期	種別
田中 大資	株式会社クレヨン 代表取締役	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
尹 春花	川崎市川崎総合科学高等学校 教諭	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	高等学校教員
古本 舞	萬リンク株式会社 代表	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	卒業生
石木 賢二	株式会社Vowel デザイナー/ディレクター	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
市野沢 祐大	株式会社TEN10 代表取締役	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
須澤 麻紀	本校 校長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
箕輪 雅春	本校 教務部 スチューデントサポート課 主事	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
三枝 壘	本校 教務部 教務課 副主事	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
奈良 将之	本校 教務部 教務課	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
田中 日菜子	本校 教務部 スチューデントサポート課	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
齋藤 誠志	本校 教務部 スチューデントサポート課	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/>

公表時期: 令和6年8月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

公的な教育機関として教育活動や取り組み等の学校運営の全体状況を、誠実に正しい情報を提供する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	・校長 ・校訓 ・基本組織 ・事業報告書
(2) 各学科等の教育	・学科 ・教育研究上の目的 ・入学者の受け入れ方針 ・入学者数
(3) 教職員	・教職員の構成
(4) キャリア教育・実践的職業教	・就職支援 ・実践的職業訓練
(5) 様々な教育活動・教育環境	・学校行事への取り組み状況
(6) 学生の生活支援	・学校支援への取り組み状況
(7) 学生納付金・修学支援	・学生納付金、納入時期等 ・修学支援、奨学金制度等
(8) 学校の財務	・財務情報 ・監事監査報告書
(9) 学校評価	・自己点検・自己評価報告書 ・学校関係者評価報告書
(10) 国際連携の状況	—
(11) その他	—

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他()

URL: <https://www.musashino-fashion.ac.jp/disclosure/>
公表時期: 令和6年8月31日

授業科目等の概要

	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業 時数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必 修	選 択 必 修	自 由 選 択						講 義	演 習	実 験 ・ 実 習 ・ 実 技	校 内	校 外	専 任	兼 任	
1	○			スタイリング1	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング1ではシャツを製作し、トップスの理解を目的とします。	1前	120	4			○	○		○		
2	○			スタイリング2	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング2ではパンツを製作し、ボトムスの理解を目的とします。	1前	120	4			○	○		○		
3	○			スタイリング3	デザインから型紙製作、縫製と一連の製作行程で服の構造を理解します。スタイリング3ではカジュアルジャケットを製作し、上着の理解を目的とします。	1後	120	4			○	○		○		
4	○			ビジネスコミュニケーション	課題を解決し、顧客やパートナーの満足度を高めることで評価されるのが仕事。このようなビジネスシーンで要求されるコミュニケーションスキルの向上を図る。	1後	30	2	○	△		○			○	○
5	○			ファッションビジネス1	アパレル業界全体の仕組みを包括し、基礎から理解します。	1前	30	2	○	△		○		○		
6	○			ファッションコーディネート1	トータルコーディネートの考察、トレンド・テイストを分析し、オリジナルファッションコーディネート表現する。	1前	30	2	○	△		○			○	
7	○			スタイリングマップ1	パーソナルカラーの基本的知識を習得し、色の特性を理論的に識別判断できる能力を養います。	1前	30	2	○	△		○			○	○
8	○			デザイン画1	デザイン画の基本プロポーションと衣服の関係を把握し、デザインの構造を正確に描けるように、基本技術を高めます。	1前	30	1				○	○		○	
9	○			デザイン画2	デザイン画1で習得した基本技術をもとに、さまざまなものを使ってデザイン発想の練習をし、応用力・発想力を身につけます。	1後	30	1				○	○		○	
10	○			ファッションマテリアル	繊維→糸→織物・編物→加工→製品までの流れに関する講義と各々の企画に合わせた素材提案マップを製作します。	1後	30	2	○	△		○			○	
11	○			アパレル技術	素材、副資材等の知識、ミシン、アイロン他、用具の扱いを学び、スカートの制作行程を通して、縫製技術の基礎を習得します。	1前	30	1				○	○		○	
12	○			パターンメイキング	パターンの基礎知識とパターンメイキングの基本を習得します。	1前	30	1				○	○		○	
13	○			コンピューターグラフィックス1	Macintosh の基本操作をはじめ、Adobe Illustrator や Adobe Photoshop の基本操作、各種ソフトの特徴を理解して目的に応じた適切な方法を選択し、仕上げるまでの授業を副教材を用いています。	1前	30	1				○	○		○	
14	○			ビジネスマナー	社会人としてのビジネスマナー、接遇マナーを学び身につけます。就職活動対策も兼ね、就職活動をスムーズに行えるようにします。	1後	30	2	○	△		○			○	○

15	○		incubate collection	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	1 後	30	1			○	○	○	○					
16	○		プレゼンテーション1	製作物等を使ってプレゼンテーションを行います。自分の考えを適切に伝え、良さを理解し共感を得られるよう、目指します。	1 通年	30	1			○	○		○					
17	○		マーケットリサーチ1	店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積します。	1 通年	30	1			○		○	○					
18	○		コレクションセミナー1	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。	1 通年	15	1	○			○		○					
19	○		イベントプロデュース1	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	1 通年	60	2			○	○		○					
20	○		ヘアメイク1	ヘアスタイリング、スキンケア、メイクの概論から入り、後半では実習を行います。メイク技術だけの向上ではなくカラージュ製作等でコンセプトの理解力も養います。	1 前	30	1			○	○						○	
21	○		スタイリストトレーニング1	スタイリストの役割の理解からはじまり、現場に必要な専門的スキルを身につけ、2年次で行う現場研修（スタイリストトレーニング2）につなげます。	1 後	30	2			○	○						○	
22	○		ファッションビジネス2	進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけ、将来活躍するアパレル企業・業界にて活躍出来るように備えます。	1 後	30	2	○	△		○						○	
23	○		ショップマネジメント1	期間限定ショップ【incubate】の運営です。1年生は2年生のサポート的役割を担います。2年生がどう考え行動しているのか理解し、協力して下さい。	1 前	30	1			○	○	○	○					
24	○		ファッションリテール	ファッションアドバイザーの仕事の理解、接客マナー、現場力、コミュニケーション能力を磨く。	1 後	30	1			○	○						○	
25	○		リクルートガイダンス1	就職活動における基本的マナーと活動方法を身につけ、意思決定がなされるように進路選択をしていきます。ファッション業界の就職の仕方を学びます。	1 後	30	2	○			○						○	
26	○		コンピュータグラフィックス2	必修科目CG1で学んだ主な基本操作の復習と、自由なアイテムに自由なプリント手法を使用したオリジナルデザインプリントを製作し、更なる知識、技術の追求を深めます。	1 後	30	1			○	○						○	
27	○		販売士2級検定対策	単なる「受験対策講座」ではなく、テキストの内容を実在する企業のケース事例や戦略に例えて解説講義を実施。直前対策として、「出題予想模擬試験」及び「解答解説講義」を実施。	1 前	30	2	○	△		○						○	
28	○		英会話	ネイティブの英会話講師による、店頭での接客を前提とした英会話を学びます。	1 後	15	1	○	△		○						○	
29	○		コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	1 後	30	1			○	○						○	
30	○		モデルウォーキング1	incubate collection でのモデルです。レッスンを受講後、本番に望みます。服が最高に良く見える様、作品に合わせ美しく歩くことを、指導します。	1 後	30	1			○	○						○	
31	○		ヘアメイクスタッフ1	ファッションショー用のヘア&メイクアップの習得です。担当作品についてのヘア&メイクアップのプランニングから実施まで行います。	1 後	30	1			○	○						○	

32		○	キャンパスサポート1	体験入学で誘導や実習でのサポートを通して、初対面の方とも笑顔で会話出来る接遇力を高めます。	1 通年	30	1				○	○		○					
33	○		スタイリストワーク1	期間限定ショップに向けての商品製作をおこないます。ファッションスタイリング科らしいトータルコーディネート視点でのファッション提案を目指します。	2 前	120	4				○	○					○		
34	○		スタイリストワーク2	ファッションショーに向けての作品製作を行います。ファッションスタイリング科らしいトータルコーディネート視点でファッション提案が課題です。	2 後	120	4				○	○					○		
35	○		スタイリストワーク3	学園祭での発表に向けての卒業製作課題です。	2 後	120	4				○	○					○		
36	○		ファッションコーディネート2	この講義ではファッションとヘア&メイクを一体と考え、一つのコンセプトを同時に創り上げる訓練を行います。プロのスタイリストとヘア&メイクアップアーティストとのコラボレーション授業を実施します。	2 後	30	2	○	△			○						○	
37	○		incubate collection	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	2 後	30	1				○	○	○	○					
38	○		プレゼンテーション2	製作物等を使ってプレゼンテーションを行います。自分の考えを適切に伝え、良さを理解し共感を得られるよう、伝えることに磨きをかけます。	2 通年	30	1				○	○						○	
39	○		マーケットリサーチ2	店舗リサーチから美術館見学まで幅広く行う校外見学の授業です。必ずレポートを製作し知識や情報を蓄積します。	2 通年	30	1				○		○	○					
40	○		コレクションセミナー2	市場動向やファッショントレンドについての最新情報を得る授業です。また、特別講義として業界で活躍中の方や卒業生の講演もあります。	2 通年	30	1	○				○						○	
41	○		イベントプロデュース2	学園祭などの準備から実施までの内容です。終了後レポート提出があります。	2 通年	90	3				○	○						○	
42	○		スタイリングマップ2	Styling Mapメソッドをベースに色彩とファッション・メイクやヘアスタイルのスタイリングテクニックについて、理論に沿った基本的な知識を習得します。	2 前	30	2	○	△			○						○	
43	○		フォーマルスペシャリスト	フォーマルスペシャリスト準2級認定試験対策講座	2 後	30	2	○	△			○						○	
44	○		ヘアメイク2	ファッションイメージ表現の実習を中心に行ないます。メイク技術だけの向上ではなくコラージュ制作等でコンセプトの理解力も養います。	2 前	30	1				○	○						○	
45	○		スタジオワーク	コーディネート作品を写真撮りし、作品集を作り上げる授業です。	2 後	30	1				○	○						○	
46	○		ファッションビジネス3	進歩・変革し続け、絶えざる創造を必要とするファッションビジネスの世界で活躍する際に必要となる専門的な知識を身につけます。	2 前	30	2	○	△			○						○	
47	○		ファッションマーケティング	マーケティングは目的達成の為に仕組みであると言い換える事も出来ます。課題を実習形式のグループワークで取り組み、学んでいきます。	2 後	30	2	○				○						○	○
48	○		ショップマネジメント2	PDCAサイクルを学生に体感させる実践的教育としての期間限定ショップ【incubate】の運営です。課題を与えそれに対して個人又はグループで解決してゆく形式で進めます。	2 前	90	3					○	○	○	○				

49	○	リクルートガイダンス2	1年時に身につけた知識を基に進路を探索します。各自の進路に合わせ、面接指導や個別相談で就職試験の準備をします。	2前	30	1	○		○	○									
50	○	ビジュアルマーチャンダイジング	ヴィジュアルマーチャンダイジングは店舗設計～商品のディスプレイまで幅広いものです。知識だけでなく最後の授業では、まとめとして商品ディスプレイを実習で行います。	2前	45	3	○	△		○	○								
51	○	スタイリストトレーニング2	スタイリストの現場研修『インターンシップ』です。スタイリストトレーニング1で学んだ内容を現場で生かしていきます。	2通年	60	2			○	○								○	
52	○	アパレルインターンシップ	現在学習している事が実際社会でどのように活用・展開しているかを知る事により、社会に出る為に今後何を学ぶべきかを認識し、勉学への意欲の向上を図ると共に、将来の職業適性や設計を考える機会とし、社会人としての自覚・職業観の育成を目的としています。	2通年	60	2				○	○							○	
53	○	帽子製作	自分のイメージした作品のデザインを、いかに厳密に正確により早く美しく仕上げるかを、製作を通して学びます。	2前	30	1				○	○								○
54	○	ネイルアート	ネイル技術を用いた、指先に美しさと華やかさを創造し、トータルビューティーを目指します。ネイルケア、フラットアート、エンボスアート、3D立体、ミックスメディアアートを学びます。	2後	30	1				○	○								○
55	○	コンテストコーチング	各種デザインコンテストに入選する為のノウハウを身につけます。	2前	30	1				○	○								○
56	○	モデルウォーキング2	incubate collection でのモデルです。レッスンを受講後、本番に望みます。服が最高に良く見える様、作品に合わせ美しく歩くことを、指導します。	2後	30	1				○	○								○
57	○	ヘアメイクスタッフ2	ファッションショー用のヘア&メイクアップの習得です。担当作品についてのヘア&メイクアップのプランニングから実施まで行います。	2後	30	1				○	○	○							○
58	○	コレクションスタッフ	ファッションショーの準備、運営の授業を通し、組織として一つの目標に向けて行動します。責任感、行動力、協調性、等、社会人基礎力を養う内容です。	2後	30	1				○	○	○	○						
59	○	キャンパスサポート2	体験入学で誘導や実習でのサポートを通して、初対面の方とも笑顔で会話が出来る接遇力を高めます。	2通年	30	1				○	○								○
合計					59	科目	101 単位 (単位時間)												

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件：188時間以上・69単位以上取得		1学年の学期区分	2期
履修方法：課題提出や試験、受講姿勢による総合評価		1学期の授業期間	15週

(留意事項)

1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について○を付すこと。